

2017年度 決算説明会

2018年5月21日

株式会社 **NIPPO**

損益概要（連結）

単位：億円、下段は利益率または増減率(%)

	通 期		
	前 期 (2016年度)	当 期 (2017年度)	増減
受注高	4,101.3	4,364.5	263.2 6.4%
売上高	3,936.1	4,041.5	105.3 2.7%
売上総利益	682.5 (17.3%)	657.4 (16.3%)	△ 25.1 (△1.1%)
販売費・一般管理費	241.3	271.2	29.8
営業利益	441.2 (11.2%)	386.1 (9.6%)	△ 55.0 (△1.7%)
営業外損益	16.7	17.2	0.4
経常利益	457.9 (11.6%)	403.4 (10.0%)	△ 54.5 (△1.7%)
特別損益	△ 19.9	6.4	26.3
税金等調整前当期純利益	438.0	409.8	△ 28.2
法人税等	141.8	132.6	△ 9.1
非支配株主に帰属する当期純利益	11.0	11.0	0.0
親会社株主に帰属する当期純利益	285.1 (7.2%)	266.1 (6.5%)	△ 19.0 (△0.7%)

セグメント業績（連結）

（単位：億円、％）

			建設事業			製造・販売	開 発	その他	合 計	調整額 (本社経費)	合 計
			舗装土木 利益率	一般土木 利益率	建 築 利益率	利益率	利益率	利益率	利益率	利益率	利益率
売上高	外部顧客売上高	前 期 (2016年度)	1,728.3	665.9	648.1	601.5	212.1	80.0	3,936.1		3,936.1
		当 期 (2017年度)	1,853.7	664.1	643.4	617.3	192.3	70.4	4,041.5		4,041.5
		増 減 (増減率)	+125.4 (+7.3%)	△1.7 (△0.3%)	△4.7 (△0.7%)	+15.8 (+2.6%)	△19.7 (△9.3%)	△9.6 (△12.0%)	+105.3 (+2.7%)		+105.3 (+2.7%)
	セグメント間売上高	前 期 (2016年度)	9.0	24.0	10.7	301.9	0.3	88.5	434.8	△ 434.8	
		当 期 (2017年度)	10.5	25.8	16.5	290.5	0.3	88.6	432.5	△ 432.5	
		増 減 (増減率)	+1.4 (+16.4%)	+1.7 (+7.4%)	+5.8 (+54.3%)	△11.4 (△3.8%)	+0.0 (+1.2%)	+0.0 (+0.0%)	△2.3 (△0.5%)	+2.3 (△0.5%)	
	売上高 計	前 期 (2016年度)	1,737.3	690.0	658.9	903.4	212.5	168.6	4,370.9	△ 434.8	3,936.1
		当 期 (2017年度)	1,864.3	690.0	660.0	907.8	192.7	159.0	4,474.0	△ 432.5	4,041.5
		増 減 (増減率)	+126.9 (+7.3%)	+0.0 (+0.0%)	+1.1 (+0.2%)	+4.3 (+0.5%)	△19.7 (△9.3%)	△9.5 (△5.7%)	+103.0 (+2.4%)	+2.3 (△0.5%)	+105.3 (+2.7%)
セグメント利益		前 期 (2016年度)	217.0 12.5%	46.5 6.8%	58.3 8.9%	145.9 16.2%	31.6 14.9%	11.2 6.7%	510.9 11.7%	△ 69.6 △1.6%	441.2 11.2%
		当 期 (2017年度)	208.3 11.2%	50.5 7.3%	45.2 6.9%	116.3 12.8%	31.7 16.5%	10.0 6.3%	462.1 10.3%	△ 75.9 △1.7%	386.1 9.6%
		増 減 (増減率)	△8.7 (△4.1%)	+3.9 (+8.4%)	△13.1 (△22.5%)	△29.6 (△20.3%)	+0.0 (+0.2%)	△1.2 (△10.9%)	△48.7 (△9.5%)	△6.2 (+9.0%)	△55.0 (△12.5%)

利益率は、セグメント利益／売上高計 で算出しております。

建設事業の状況（受注高・売上高・次期繰越高）

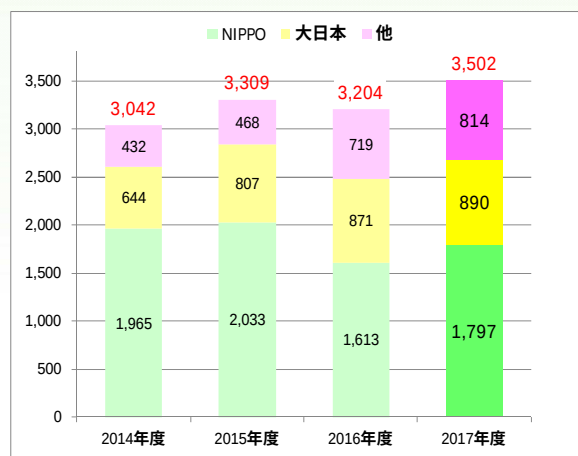
単位：億円

		NIPPO単体				大日本土木				その他子会社・連結消去				連 結			
		前 期 (2016年度)	当 期 (2017年度)	増減	増減率	前 期 (2016年度)	当 期 (2017年度)	増減	増減率	前 期 (2016年度)	当 期 (2017年度)	増減	増減率	前 期 (2016年度)	当 期 (2017年度)	増減	増減率
受注高																	
建設事業	舗装土木	1,265.9	1,536.8	+270.8	+21.4 %	—	—	—	**	468.6	528.1	+59.5	+12.7 %	1,734.5	2,064.9	+330.3	+19.0 %
	一般土木	—	—	—	**	430.9	462.4	+31.5	+7.3 %	276.5	292.1	+15.6	+5.6 %	707.4	754.5	+47.1	+6.7 %
	建 築	347.3	260.6	△86.6	△25.0 %	440.8	428.0	△12.8	△2.9 %	△25.3	△5.4	+19.9	△78.7 %	762.8	683.2	△79.5	△10.4 %
	計	1,613.2	1,797.4	+184.1	+11.4 %	871.7	890.5	+18.7	+2.1 %	719.9	814.8	+94.9	+13.2 %	3,204.8	3,502.7	+297.9	+9.3 %
売上高																	
建設事業	舗装土木	1,304.2	1,341.4	+37.1	+2.8 %	—	—	—	**	424.1	512.3	+88.2	+20.8 %	1,728.3	1,853.7	+125.4	+7.3 %
	一般土木	—	—	—	**	374.6	365.0	△9.5	△2.6 %	291.3	299.1	+7.8	+2.7 %	665.9	664.1	△1.7	△0.3 %
	建 築	310.1	248.5	△61.6	△19.9 %	348.7	411.5	+62.7	+18.0 %	△10.7	△16.6	△5.9	+55.1 %	648.1	643.4	△4.7	△0.7 %
	計	1,614.4	1,589.9	△24.5	△1.5 %	723.3	776.5	+53.2	+7.4 %	704.7	795.0	+90.3	+12.8 %	3,042.4	3,161.4	+118.9	+3.9 %
次期繰越高																	
建設事業	舗装土木	546.0	741.4	+195.4	+35.8 %	—	—	—	**	65.2	81.0	+15.8	+24.2 %	611.2	822.4	+211.1	+34.5 %
	一般土木	—	—	—	**	651.5	749.0	+97.4	+15.0 %	68.6	61.5	△7.1	△10.3 %	720.1	810.5	+90.4	+12.6 %
	建 築	321.0	333.1	+12.0	+3.8 %	403.6	420.2	+16.5	+4.1 %	△17.6	△6.5	+11.1	△63.1 %	707.0	746.8	+39.7	+5.6 %
	計	867.1	1,074.5	+207.4	+23.9 %	1,055.2	1,169.2	+113.9	+10.8 %	116.1	136.1	+20.0	+17.2 %	2,038.4	2,379.8	+341.3	+16.7 %

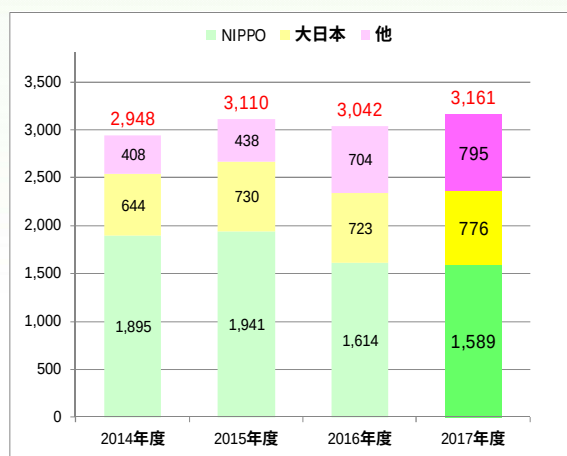
舗装土木 … NIPPO（コンサル含む）、その他子会社

一般土木 … 大日本土木、長谷川体育施設、日舗建設

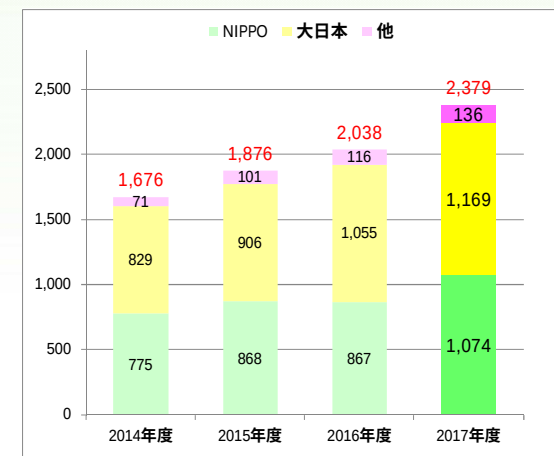
【受注高（建設事業）】



【売上高（建設事業）】



【次期繰越高（建設事業）】



次期予想（連結）

【通期予想】

(単位：億円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
当期実績(2017年度)	4,041.5	386.1 9.6%	403.4 10.0%	266.1 6.5%
次期予想(2018年度)	4,100.0	395.0 9.6%	410.0 10.0%	270.0 6.6%
増 減 増減率	+58.5 (+1.4 %)	+8.9 (+2.3 %)	+6.6 (+1.6 %)	+3.9 (+1.5 %)

【セグメント】

(単位：億円、()は増減率)

		建設事業			製造・販売	開 発	その他	合 計	調整額 (本社経費)	合 計
		舗装土木 利益率	一般土木 利益率	建 築 利益率	利益率	利益率	利益率	利益率	利益率	利益率
売上高 [外部顧客への売上高]	前期実績 (2016年度)	1,728.3	665.9	648.1	601.5	212.1	80.0	3,936.1		3,936.1
	当期実績 (2017年度)	1,853.7	664.1	643.4	617.3	192.3	70.4	4,041.5		4,041.5
	次期予想 (2018年度)	1,950.0 (+5.2 %)	650.0 (△2.1%)	630.0 (△2.1%)	620.0 (+0.4 %)	180.0 (△6.4%)	70.0 (△0.6%)	4,100.0 (+1.4 %)		4,100.0 (+1.4 %)
セグメント利益	前期実績 (2016年度)	217.0 12.6 %	46.5 7.0 %	58.3 9.0 %	145.9 24.3 %	31.6 14.9 %	11.2 14.0 %	510.9 13.0 %	△ 69.6 △1.8 %	441.2 11.2 %
	当期実績 (2017年度)	208.3 11.2 %	50.5 7.6 %	45.2 7.0 %	116.3 18.8 %	31.7 16.5 %	10.0 14.2 %	462.1 11.4 %	△ 75.9 △1.9 %	386.1 9.6 %
	次期予想 (2018年度)	220.0 11.3 % (+5.6 %)	50.0 7.7 % (△1.1%)	45.0 7.1 % (△0.5%)	120.0 19.4 % (+3.2 %)	26.0 14.4 % (△18.1%)	10.0 14.3 % (△0.0%)	471.0 11.5 % (+1.9 %)	△ 76.0 △1.9 % (+0.0 %)	395.0 9.6 % (+2.3 %)

利益率は、セグメント利益／外部顧客売上高 で算出しております。

次期予想 建設事業（受注高・売上高・次期繰越高）

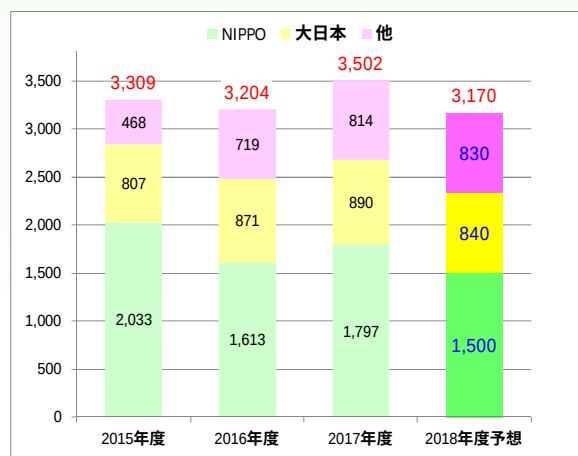
単位：億円

		NIPPO単体				大日本土木				その他子会社・連結消去				連 結			
		当期実績 (2017年度)	次期予想 (2018年度)	増減	増減率	当期実績 (2017年度)	次期予想 (2018年度)	増減	増減率	当期実績 (2017年度)	次期予想 (2018年度)	増減	増減率	当期実績 (2017年度)	次期予想 (2018年度)	増減	増減率
受注高																	
建設事業	舗装土木	1,536.8	1,250.0	△286.8	△18.7%	—	—	—	**	528.1	600.0	+71.9	+13.6%	2,064.9	1,850.0	△214.9	△10.4%
	一般土木	—	—	—	**	462.4	400.0	△62.4	△13.5%	292.1	240.0	△52.1	△17.8%	754.5	640.0	△114.5	△15.2%
	建 築	260.6	250.0	△10.6	△4.1%	428.0	440.0	+11.9	+2.8%	△ 5.4	△ 10.0	△4.6	**	683.2	680.0	△3.2	△0.5%
	計	1,797.4	1,500.0	△297.4	△16.5%	890.5	840.0	△50.5	△5.7%	814.8	830.0	+15.2	+1.9%	3,502.7	3,170.0	△332.7	△9.5%
売上高																	
建設事業	舗装土木	1,341.4	1,350.0	+8.5	+0.6%	—	—	—	**	512.3	600.0	+87.7	+17.1%	1,853.7	1,950.0	+96.2	+5.2%
	一般土木	—	—	—	**	365.0	420.0	+54.9	+15.1%	299.1	230.0	△69.1	△23.1%	664.1	650.0	△14.1	△2.1%
	建 築	248.5	250.0	+1.4	+0.6%	411.5	400.0	△11.5	△2.8%	△ 16.6	△ 20.0	△3.4	**	643.4	630.0	△13.4	△2.1%
	計	1,589.9	1,600.0	+10.0	+0.6%	776.5	820.0	+43.4	+5.6%	795.0	810.0	+15.0	+1.9%	3,161.4	3,230.0	+68.5	+2.2%
次期繰越高																	
建設事業	舗装土木	741.4	641.4	△100.0	△13.5%	—	—	—	**	81.0	81.0	+0.0	—	822.4	722.4	△100.0	△12.2%
	一般土木	—	—	—	**	749.0	729.0	△20.0	△2.7%	61.5	71.5	+10.0	+16.3%	810.5	800.5	△10.0	△1.2%
	建 築	333.1	333.1	+0.0	—	420.2	460.2	+40.0	+9.5%	△ 6.5	3.5	+10.0	**	746.8	796.8	+50.0	+6.7%
	計	1,074.5	974.5	△100.0	△9.3%	1,169.2	1,189.2	+20.0	+1.7%	136.1	156.1	+20.0	+14.7%	2,379.8	2,319.8	△60.0	△2.5%

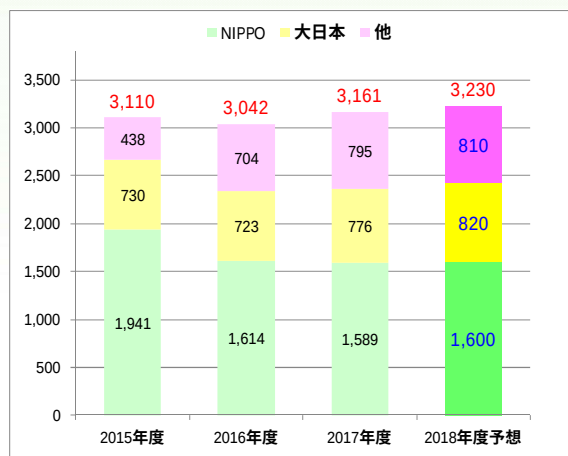
舗装土木 … NIPPO（コンサル含む）、その他子会社

一般土木 … 大日本土木、長谷川体育施設、日舗建設

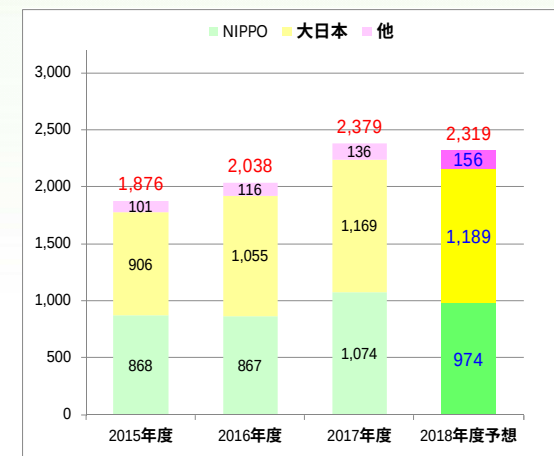
【受注高（建設事業）】



【売上高（建設事業）】



【次期繰越高（建設事業）】



貸借対照表（連結）

単位：億円、[] 内は構成比率(%)

	連 結				
	前期末	当期末	増減額	増減率(%)	
流動資産	3,307.5 [66.7]	3,318.7 [65.0]	11.2	0.3 %	
現金・預金	618.1 [12.5]	533.3 [10.4]	△ 84.7	△13.7 %	
受取手形・完成未収等	1,395.7 [28.1]	1,443.3 [28.3]	47.5	3.4 %	
未成工事支出金	185.0 [3.7]	157.5 [3.1]	△ 27.5	△14.9 %	
たな卸不動産	227.5 [4.6]	229.9 [4.5]	2.3	1.0 %	
その他流動資産	881.0 [17.8]	954.6 [18.7]	73.5	8.3 %	
固定資産	1,654.2 [33.3]	1,787.5 [35.0]	133.2	8.1 %	
有形固定資産	1,152.6 [23.2]	1,255.3 [24.6]	102.7	8.9 %	
無形固定資産	20.1 [0.4]	16.5 [0.3]	△ 3.6	△17.9 %	
投資その他の資産	481.4 [9.7]	515.5 [10.1]	34.0	7.1 %	
投資有価証券	434.8 [8.8]	470.3 [9.2]	35.4	8.2 %	
その他	46.6 [0.9]	45.2 [0.9]	△ 1.4	△3.1 %	
総資産	4,961.8 [100.0]	5,106.2 [100.0]	144.4	2.9 %	
流動負債	1,743.5 [35.1]	1,621.1 [31.7]	△ 122.3	△7.0 %	
支払手形・工事未払金等	1,214.2 [24.5]	1,106.3 [21.7]	△ 107.9	△8.9 %	
未成工事受入金	165.7 [3.3]	138.0 [2.7]	△ 27.7	△16.7 %	
その他流動負債	363.5 [7.3]	376.8 [7.4]	13.2	3.7 %	
固定負債	268.8 [5.4]	266.7 [5.2]	△ 2.0	△0.8 %	
繰延税金負債	68.4 [1.4]	85.3 [1.7]	16.8	24.6 %	
退職給付に係る負債	94.7 [1.9]	76.0 [1.5]	△ 18.7	△19.7 %	
その他固定負債	105.6 [2.1]	105.4 [2.1]	△ 0.1	△0.2 %	
負債 計	2,012.3 [40.6]	1,887.9 [37.0]	△ 124.3	△6.2 %	
純資産	2,949.4 [59.4]	3,218.2 [63.0]	268.8	9.1 %	
株主資本	2,709.8 [54.6]	2,942.9 [57.6]	233.0	8.6 %	
評価・換算差額等	183.2 [3.7]	208.7 [4.1]	25.4	13.9 %	
退職給付に係る調整累計額	△8.1 [△0.2]	△9.0 [△0.2]	△ 0.9	11.2 %	
非支配株主持分	64.4 [1.3]	75.6 [1.5]	11.2	17.4 %	
負債・純資産 合計	4,961.8 [100.0]	5,106.2 [100.0]	144.4	2.9 %	

「中長期経営ビジョン」説明会

2018年度～2030年度

2018年5月21日



株式会社 NIPPO

本日の説明内容

I

「中長期経営ビジョン」の位置づけ

II

「中長期経営ビジョン」における基本方針と経営目標

<キーポイント>

「中長期経営ビジョン」の展開における
「2018年度を初年度とする経営三カ年計画」の位置づけについて

III

「中長期経営ビジョン」の概要

1. セグメント別事業戦略
2. 経営資源の有効活用
 - ①人事ビジョンの展開
 - ②投資キャッシュフローについて
3. 株主還元に対する考え方

「中長期経営ビジョン」の位置づけ

「中長期経営ビジョン」の位置づけ

企業理念

わたしたちは、確かなものづくりを通して、
豊かな社会の実現に貢献します。



社会・経済の発展と持続可能で活力のある未来づくりに貢献するために、

- 中核事業の安定的な維持拡大
 - イノベーションの推進
 - 戦略事業のグローバルな展開
- を図ります。



「キャッシュフローと安定した収益を重視した経営」を推進し、事業環境の
変化に適応可能な収益・財務基盤を強化するための「ビジョン」「方向性」。

「中長期経営ビジョン」の位置づけを明確にして、
経営目標の達成を目指します

II 「中長期経営ビジョン」における基本方針と経営目標



① 経営目標 (業績計画値)

※中核連結：NIPPO本体＋グループ工事会社・製販会社(舗装事業子会社)
 ※独立会社：大日本土木・長谷川体育施設・日舗建設・MECX・SPC

2017年度実績

2030年度 (中長期経営ビジョン最終年度)

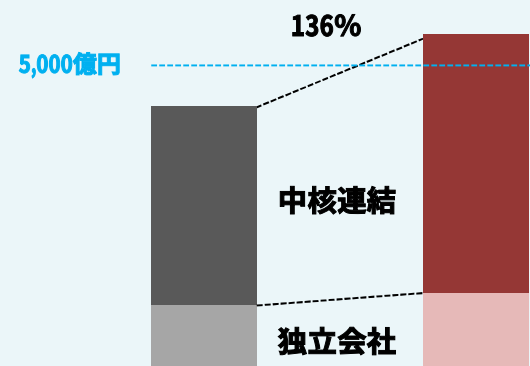
① 売上高

<全体連結>

4,041億円

<中核連結> 2,910億円

<独立会社> 1,131億円



<全体連結>

5,500億円

<中核連結> 4,100億円

<独立会社> 1,400億円

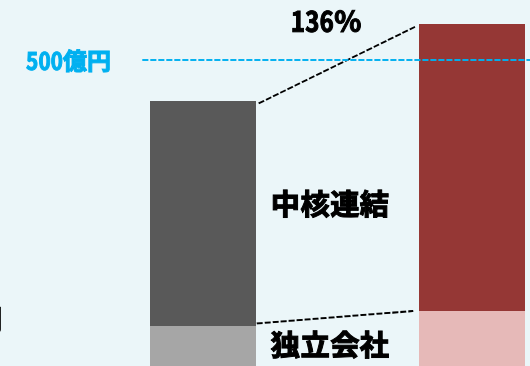
② 経常利益

<全体連結>

403億円

<中核連結> 312億円

<独立会社> 91億円



<全体連結>

550億円

<中核連結> 450億円

<独立会社> 100億円

NIPPOグループは事業環境の変化に適切に対応し、
 安定的な成長を目指します

II 「中長期経営ビジョン」における基本方針と経営目標



② 「中長期経営ビジョン」の基本方針と骨子

基本方針

市場が不透明な事業環境(市場が縮小する環境)においても、
事業規模・体制を維持し、安定的な収益基盤を構築し続ける。

骨子① 経営目標の達成

～安定的かつ優位性のある収益基盤の
維持継続と拡大～

- セグメント別事業戦略の確実な展開
- NIPPOグループ全体の人材確保・
育成による優位性確立

骨子② 事業基盤・収益基盤の強化

～優位性のある財務基盤の構築～

- キャッシュ・フローと安定した収益を
重視した経営

骨子③ 株主還元の充実

- 安定配当の維持継続を意識した
経営の実現

骨子④ ガバナンス体制の構築

- グループ各社に対する 強固な
グループガバナンス体制の構築

「中長期経営ビジョン」の実現に向けた 4つの「骨子」の展開を進めます

II 「中長期経営ビジョン」における基本方針と経営目標



③ 「中長期経営ビジョン」の展開における 「2018年度を初年度とする経営三カ年計画」の位置づけについて

「経営三カ年計画」(2018年度～2020年度)の位置づけ

- 基本方針**
- 「安全」と「確かなものづくり」を徹底した「CSR」を推進する。
 - 「競争に勝ち、生き残る」ための強靱で柔軟なグループ連携体制を構築する。

当3年間は、基本方針を踏まえ、
「中核連結体制の事業基盤」を
さらに確立させる「事業期間」

「中長期経営ビジョン」を確実に展開
することが可能な体制を構築する

- 財務基盤 ■ 収益基盤
- グループガバナンス ■ 人材の確保



「中長期経営ビジョン」の展開 (2020年度～2030年度)

「経営三カ年計画」の実績・成果を踏まえ、
「中長期経営ビジョン」を展開していきます

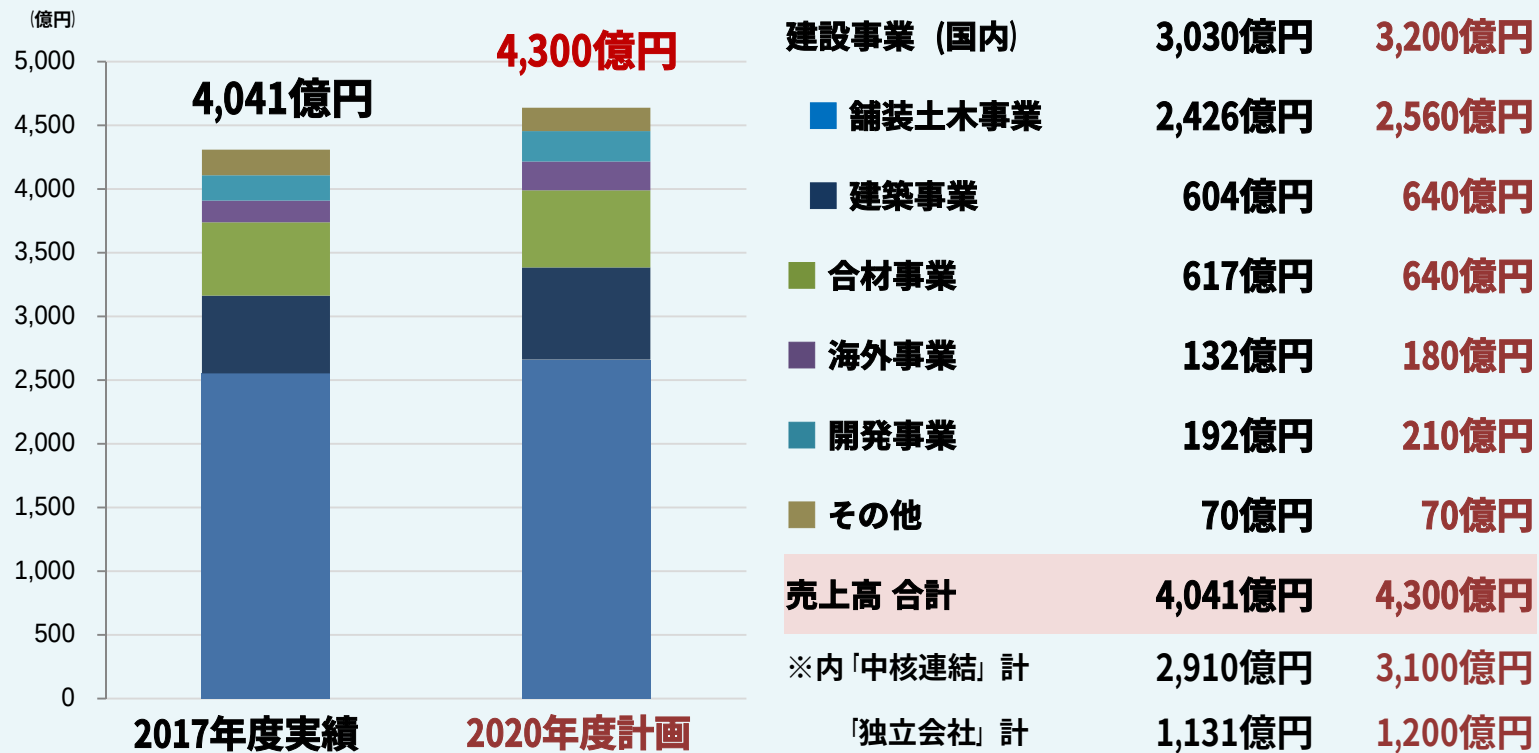
II 「中長期経営ビジョン」における基本方針と経営目標



④ 「2018年度を初年度とする経営三カ年計画」業績計画値 (「中長期経営ビジョン」を展開するための基盤構築期間)

※「中核連結」：NIPPO本体＋グループ工事会社・
製販会社(舗装事業子会社)

① 売上高 (全体連結)



連結売上高 を4,041億円から4,300億円への伸長を目指します

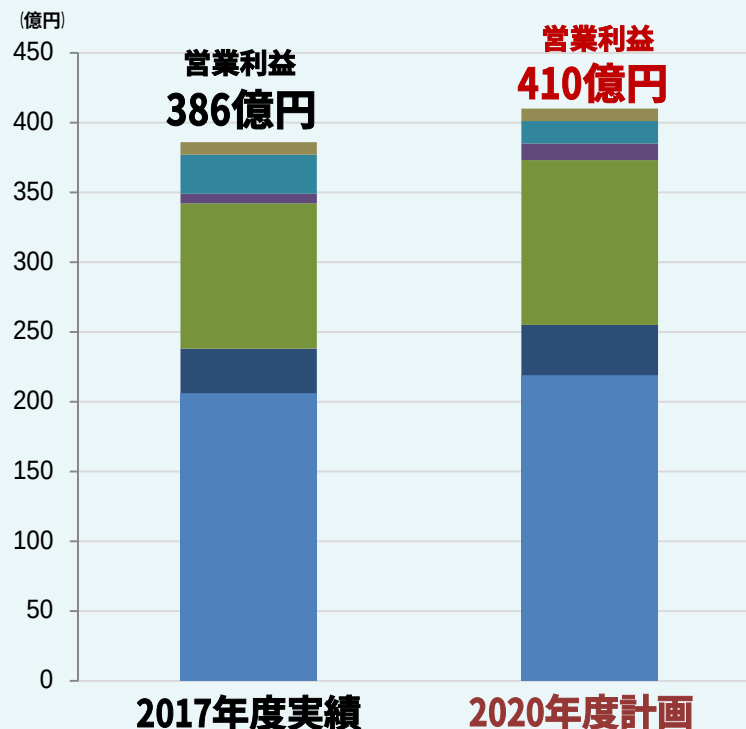
II 「中長期経営ビジョン」における基本方針と経営目標



④ 「2018年度を初年度とする経営三カ年計画」業績計画値 (「中長期経営ビジョン」を展開するための基盤構築期間)

※「中核連結」：NIPPO本体＋グループ工事会社・
製販会社（舗装事業子会社）

② 営業利益・経常利益



	2017年度実績	2020年度計画
建設事業(国内)	295億円	315億円
舗装土木事業	252億円	267億円
建築事業	43億円	48億円
合材事業	116億円	130億円
海外事業	9億円	15億円
開発事業	32億円	20億円
その他	10億円	10億円
消去	▲76億円	▲80億円
営業利益 合計	386億円	410億円
営業外収益	17億円	20億円
経常利益 合計	403億円	430億円
※内「中核連結」計	312億円	330億円
「独立会社」計	91億円	100億円

連結経常利益 403億円から 430億円への拡大を目指します

II 「中長期経営ビジョン」における基本方針と経営目標

④ 「2018年度を初年度とする経営三カ年計画」業績計画値 (「中長期経営ビジョン」を展開するための基盤構築期間)

③ キャッシュ・フロー

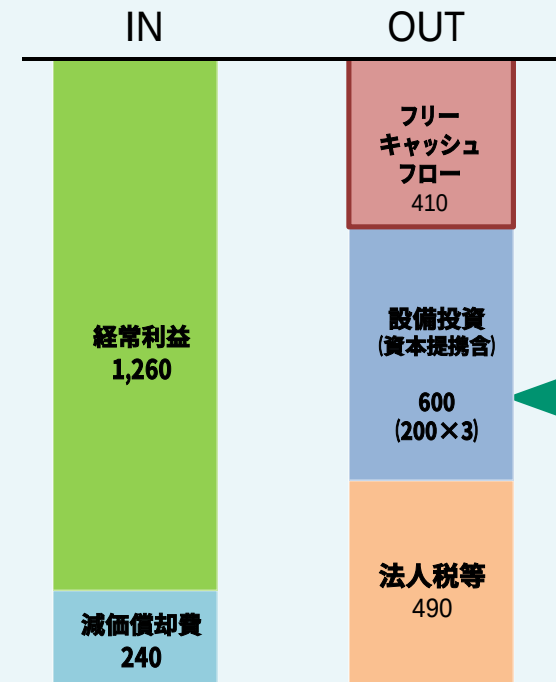
2017年度実績

売上高	(億円)	4,041
営業利益	(億円)	386
経常利益	(億円)	403
当期純利益	(億円)	266
純資産額	(億円)	3,218
(うち自己資本)	(億円)	3,143
総資産額	(億円)	5,106
(うち現金預金・ 現金同等物の期末残高)	(億円)	1,243
1株当たり純資産額 (BPS)	(円)	2,639
1株当たり当期純利益 (EPS)	(円)	223
減価償却費	(億円)	77
自己資本比率	(%)	61.5
自己資本利益率 (ROE)	(%)	8.8

2020年度計画

4,300
410
430
280
3,900
3,830
5,910
1,560
3,215
237
83
64.8
7.6

3年間におけるキャッシュ・フロー



トピックス

※2015年度～
2017年度
設備投資
400億円
↓
600億円
に拡大

財務基盤を強化して「中長期経営ビジョン」の展開を発展させていきます

Ⅲ 「中長期経営ビジョン」の概要

1. セグメント別事業戦略



※リース事業・PFI事業等のその他分野を除く

4つのセグメントごとに事業戦略を確実に遂行します

III 「中長期経営ビジョン」の概要

1. セグメント別事業戦略

建設事業



(舗装土木事業<国内>)

2020年以降の縮小する市場においても、売上高、利益が確保できる体制を構築し、事業基盤の強化を進める。

(建築事業<国内>)

グループ間 (NIPPO・大日本土木) の連携を強化し、建築事業の利益水準を高めていく。



	2017年度 (実績)		2030年度 (計画)
① 売上高	3,030億円	116%	3,500億円
② セグメント利益	295億円	125%	370億円

セグメント利益の最大化で
NIPPOグループの中核を担う役割を維持・継続します

III 「中長期経営ビジョン」の概要

1. セグメント別事業戦略



合材事業

将来、過剰設備が予想される中、
優位性あるグループ力を発揮して
安定的な利益を確保する。

	2017年度 (実績)		2030年度 (計画)
① 売上高	617億円	113%	700億円
② セグメント利益	116億円	116%	135億円

市場の縮小する環境下においても
合材シェアの維持・拡大を図っていきます

III 「中長期経営ビジョン」の概要

1. セグメント別事業戦略



海外事業

海外における**テストコース**等の継続施策に加え、タイ・インドネシア・ミャンマー等の東南アジアを中心とした新たな施策として**資材提携**等を活用した**合材事業**を展開する。



	2017年度 (実績)		2030年度 (計画)
① 売上高	132億円	606%	800億円
② セグメント利益	9億円	667%	60億円

東南アジアにおいて、アスファルト舗装 (再生技術含む) のパイオニアとして事業を発展・拡大していきます

III 「中長期経営ビジョン」の概要

1. セグメント別事業戦略



開発事業

「投資規模」と「ポートフォリオ」の適正な組み合わせにより安定的に利益を確保する。

ポート
フォリオ

賃貸

再開発

マンション

① 売上高

2017年度 (実績)

192億円

188%

2030年度 (計画)

360億円

② セグメント利益

32億円

109%

35億円

適正な投資規模と利益の安定化に取り組みます

III 「中長期経営ビジョン」の概要

2. 経営資源の有効活用

①人事ビジョンの展開

基本的な考え方

- 中長期経営ビジョンにおける事業戦略の永続性確保
- 同業他社との圧倒的な優位性を確立



個別施策の展開

グループ内における人材の流動化
人材の交流・成長

ダイバーシティの推進
人材の確保・育成

能力向上支援とキャリア形成
キャリア形成 / 評価・処遇

「働き方改革」の推進 環境の整備
総労働時間の短縮・休日の取得を推進

ICTの積極的な活用と展開	フレキシブルな対応の促進
業務プロセス・業務スペースの革新	休日の取得を推進

中長期経営ビジョン実現を担う「人材構築」の施策を展開します

III 「中長期経営ビジョン」の概要

2. 経営資源の有効活用

②投資キャッシュ・フローについて

基本的な考え方

■ 将来にわたり、企業間競争を打ち勝ち、
持続的な成長を続ける



※キャッシュ・フロー経営：キャッシュを重視した経営

「キャッシュ・フロー経営」を推進

事業規模・収益拡大に向けて
積極投資

経常的な必要資金の
確保・維持

安定的かつ健全な
財務基盤の構築

安定的にキャッシュ・フロー経営を推進しつつ、
事業の成長と発展を目指します

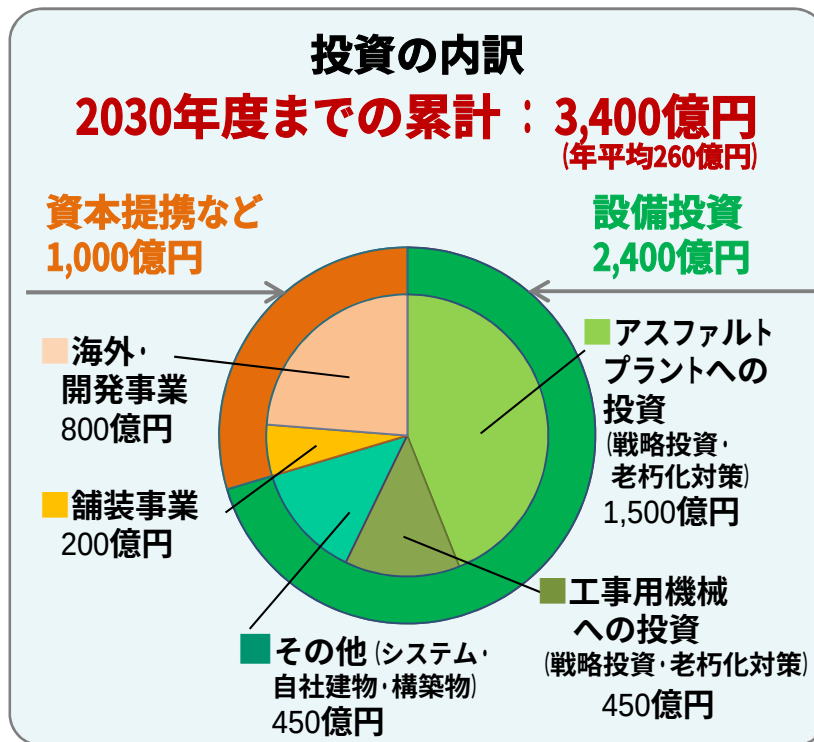
III 「中長期経営ビジョン」の概要



2. 経営資源の有効活用

②投資キャッシュ・フローについて

事業規模・収益拡大を
目的とした積極投資



[プラント]



[海外]



[開発]



[工事用機械]



[戦略投資 (技術開発)]



**積極的な投資と安定的かつ健全な財務基盤の構築により
経営目標 (売上高5,500億円、経常利益550億円) の達成を目指します**

III 「中長期経営ビジョン」の概要

3. 株主還元に対する考え方

基本的な考え方

■ 株主への利益還元が経営上の重要課題である



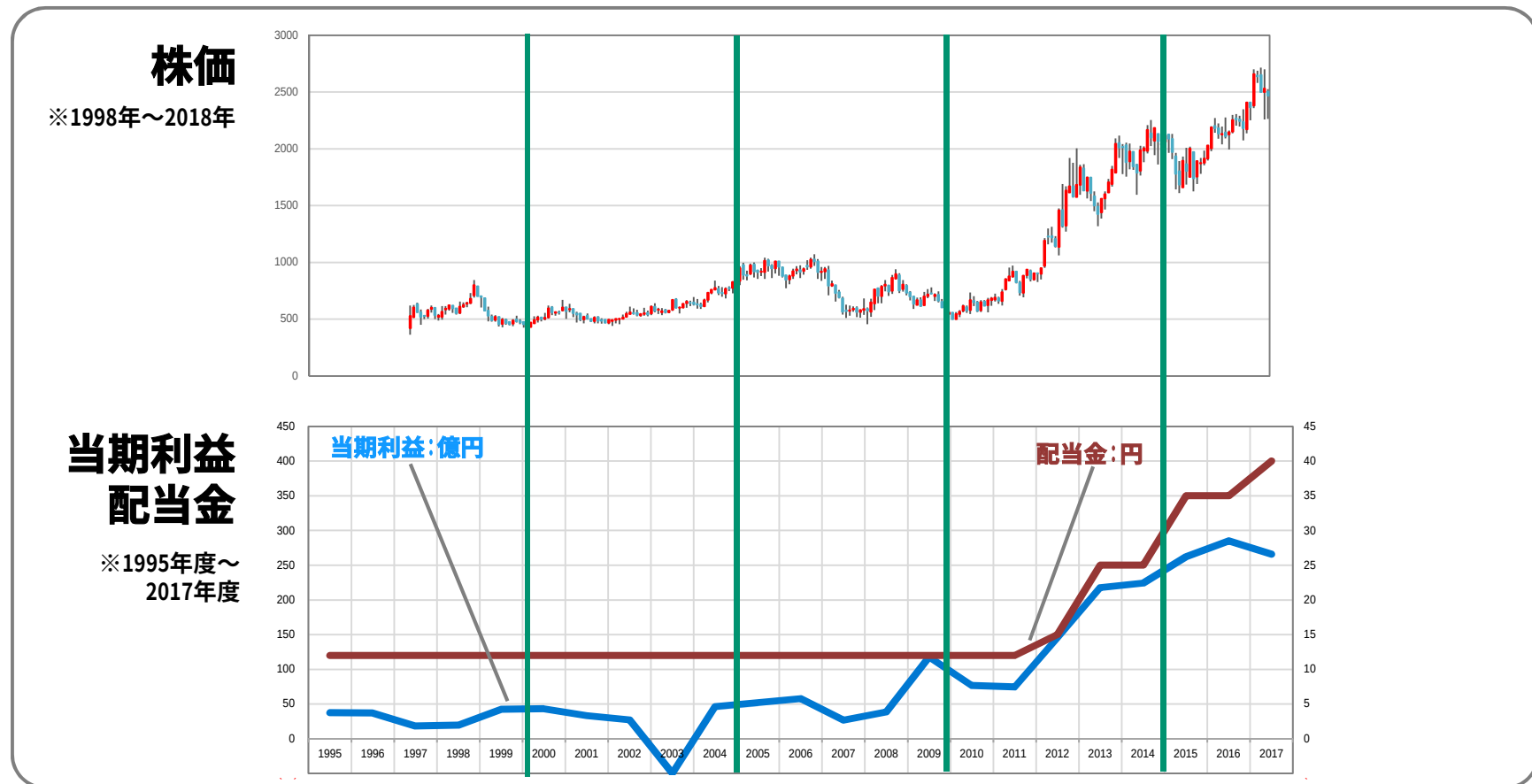
安定的な配当の継続を前提として、連結業績の推移
および見通しを反映した利益還元を実施する

III 「中長期経営ビジョン」の概要



3. 株主還元に対する考え方

参考) 配当実績と株価動向の推移



**NIPPOグループは、これまでの安定配当政策を
中長期的な視点で継続していく方針です**

ご清聴ありがとうございました



ミッチーくん

本資料における将来見通し等に関する記載は、当社が現時点で一定の前提条件に基づいて作成したものです。
主要市場の経済状況、原燃料価格、金利、為替相場等、さまざまな要因によって実際の業績は大きく乖離する場合も
ございますことをご承知願います。